



## 1. 製品について

ユニバーサルプラスター・ファインは、塗装前の下地調整や下地処理に使う石灰セメントベースの塗壁材です。カイム塗料の全ての塗料の下地に最適な材料です。

## 2. 適用

塗装前の下地表面や補修時の下地処理。

- ・室内と室外の壁と天井に使用できます(屋根や床への使用不可)
- ・ヒビやへこみ等の不陸調整(樹脂プラスター塗壁の上にも使用可)
- ・古い塗膜の上(樹脂塗装の上にも使用可)
- ・補強用グラスネットを埋め込む作業

※適さない箇所: 弾性のある表面、ケン化した表面

この製品は機械施工に適しています。

塗った時にたれ落ちることがありません。

## 3. 製品の特徴

バインダは石灰-白セメント。

軽骨材や強化繊維を含む。撥水性。

## 4. 製品データ

粒度 0~0.6 mm	圧縮強さ 3.5~7.5 N/mm <sup>2</sup>
比重 1.2 g/cm <sup>3</sup>	水蒸気透過性μ 約8
熱伝導率 λ <sub>10.dry</sub>	≤0.83 W/(mK) (P=50%)
	≤0.93 W/(mK) (P=90%)

## 5. 施工について

**下地の確認** 作業前には下地の状態をよく確認して下さい。特に補修の場合、表面に取れかけの旧塗膜やホコリ等の付着があれば、サンドブラストカウオージェット等を使って洗浄を行って下さい。下地の凹凸が大きかったり平らでない場合、粒度1.3mmのユニバーサルプラスターを最初に使って調整して下さい。

**準備** 製品に使う水量の目安:

約270~290ml/kg (1袋20kg当り5.4~5.85リットル)

攪拌には専用ミキサーを使って下さい。

塗布厚は、最低4mm、最高8mmです。

※下地の吸収性が非常に高い場合、事前に下地を水で湿らす処置が必要です。

**補強用グラスネットを埋め込む作業** 補強用のグラスネットを使う場合は、ユニバーサルプラスター・ファインを約3~4mmの厚さに塗布した上にグラスネットを乗せ、角ごて等を使用してやや圧力をかけネットを埋め込みます。その際ネットにうねりや折れが起きないように注意して下さい。ネットの継ぎ合わせは端を10cm重ねて下さい。

**下地の仕上げ** ユニバーサルプラスター・ファインは、表面仕上用のローラーを変えることで、なめらかな仕上がりにすることも、ざらついた仕上がりにすることも出来ます。吸収性の低い下地に塗布する場合、材料がやや乾燥し適度な硬度が出るまで待ってから表面仕上げに入ってください。

**注意** ユニバーサルプラスター・ファインは、混ぜ過ぎないように注意

して下さい。混ぜ過ぎると硬化強度が低下する事があります。既に一度攪拌させた材料は一度で使い切り、新しい材料と混合しないで下さい。

**作業における条件** 塗布作業中とその後の乾燥時に、気温と下地表面温度が5℃を下回らないこと。塗布作業は直射日光が当たらない状態で行う。下地が直射日光によって熱くなっている場合は塗布作業に適さないので、温度が下がるまで待ってから作業に入ること。塗布作業と塗布面の乾燥は、日光・風雨の影響を直接受けない状態で行うこと。

**塗布面の乾燥における注意** シートやネット等を使って、塗布面の急な乾燥を避けて下さい。室内の場合、暖房を使う際は温度に注意して下さい。室内の温度が高過ぎると、適切な硬化反応に支障が出る恐れがあります。

**塗布の厚さと塗装前準備** この製品はカイム塗料の全ての塗料製品に適しています。塗料の浸透性を考慮しプラスターの塗布厚は5mmにして下さい。プラスター塗布後10日おいてから塗装をして下さい。塗装前にはカイム塗料の塗装前用アルカリ処理液1に対して3の割合で水を混ぜたものを使って表面を洗い、その後水で流して下さい。

**使用量のめやす** 塗布厚1mmにつき 約1.2kg/m<sup>2</sup>

この量は基準値であり、実際の使用量は下地の状態や施工方法等によって左右されます。

**用具の洗浄** 使用した用具は全て使用後すぐに水でよく洗い乾燥させて下さい。

## 6. 製品の形状

ユニバーサルプラスター・ファイン 20kg 袋入

## 7. 保管について

製品は乾燥した涼しい場所に保管して下さい。直射日光を避けてください。また、保管場所の温度が下がり過ぎないように注意して下さい。未開封での保管は最長12ヶ月までです。

## 8. 安全のために

この製品は石灰分とセメントを含んでおり、水と混合することでアルカリ性になります。ガラス・陶器・自然石等の表面に付着しないよう、覆うなどの措置を行って下さい。製品が目に入ったりに肌につかないよう充分注意して下さい。万が一目に入った場合は水でよく流し医師の診断を受けて下さい。製品のホコリを吸入しないで下さい。作業に際しては、適切な衣類を着て、手袋や目を保護する物を使って下さい。万が一飲み込んだ場合は、製品の袋か製品情報を持参の上、直ちに医師の診察を受けて下さい。塗装作業現場での飲食は控えて下さい。この製品を使って幼児が遊んだりしないように注意して下さい。